



「高水敷」って何なの

高水の場合に、水をかぶる土地

季節が変わるごとに、川に行ってみると、川の水量が増えたり、減ったりしているのがわかります。梅雨や台風のシーズンになると、水かさが増し、冬の、雨が降らないシーズンになると、水の量が減りますね。

川は、「堤外地」と「堤内地」に分けられます。堤防に囲まれて、田や畑、住宅、工場などがある土地を「堤内地」といいます。いっぽう、川の水が流れている所を、「堤外地」といいます。

この堤外地を観察していると、川の水が高水時期になると、水かさが増えて、水をかぶっている土地があります。このように、高水の場合だけ、水をかぶる土地を「高水敷」といいます。

低水の場合に、川の水が流れている土地

いっぽう、高水敷に対して、川の水が少ない低水時期に、川の水が流れて水をかぶっている土地を、「低水敷」といいます。（監修・保岡 孝之）

堤内地・堤外地

